

英語を楽しく

No. 26

29, October

☆ “Please come in.” と “Come in, please.” とは同じでない。
まさか～！ 実は同じでないのです。この2つの違いは、つぎの様。

① “Please come in.”
(前に Please)

この時は話し手が聞き手の行為に恩義を感じていることを暗示。例えば、
[わざわざ来てくださいました。どうぞお入り下さいの気持ち]

② “Come in, please.”
(後ろに please)

話し手が責任者や主催者で、その場を取り仕切っている立場にあることを暗示。例えば、
[では、今から工事の打ち合わせをしますので、どうぞ(私の部屋に) お入り下さいの気持ち]

★ **Attention please.** (ちょっと、お聞き下さい。) の言葉、昔、こんな題のテレビ番組もあった。確か、スチュワーデス(今はこの言葉は使用禁止)の人の出てくる番組だった。乗客に向かって機内のマイクでまずこの言葉を最初に言ってから用件を言っていた記憶があります。

Attention, please.



○単語の位置関係で、気持ちや立場がわかる英語。日本語と英語とを比較することで双方の文化の違いを感じ取り、また日本語への関心が高まるのではないのでしょうか。

さて、前回の「お茶をどうぞ。」は英語でどう言えばいいでしょう。
つぎの言い方が考えられます

① **This coffee is nice and good.**

このコーヒーはとてもおいしいです。

② **You must have this.**

ぜひ、お飲み下さい。

③ **Here you go.**

どうぞ。

他に言い方があると思いますが、①から③の言い方で伝わるとは思いますが大切なことは、コーヒーを勧める側の言い方ですね。にこやかに笑顔で言うとうどんな言い方でもきっとおいしくコーヒーをいただいでくれることでしょう。

nice and good = very good

must は物事をよい意味で勧めるときに使う

You must have my cake. (私の作ったケーキ是非食べてね。美味しいから)

Here you go は **Here you are** という場合もある。

「ちゅうい」

こころで思っていることは言葉に出るもの。いくら丁寧な言葉でも言い方によって気持ちよくにも不愉快にもなるもの。簡単なことばでも心をこめて言うことは人と話すとき何よりも大切。

Yoshi